

会報誌の創刊に寄せて

三重県警察本部生活安全部生活安全企画課長
警視 前川清治郎

この度、三重県防犯設備協会の会報が創刊されましたこと、心からお慶び申し上げます。

また、貴協会におかれましては、平素から警察業務各般にわたり深い御理解と御協力を賜っておりますこと、厚くお礼申し上げます。

さて、三重県の治安情勢ですが、刑法犯認知件数は平成14年の4万7千件余りをピークに減少に転じており、昨年中も25,969件で前年比約7.6%の減少となるなど、犯罪の減少傾向は定着化を示しております。

しかしながら、昨年中は、誘拐や強盗などの凶悪事件が相次いで発生したほか、自転車盗や忍び込みが増加傾向を示すなど、犯罪は減少傾向にあるものの、治安情勢は予断を許さない状況にあります。

こうした中で、三重県警察では平成20年も引き続き街頭犯罪及び侵入犯罪を抑止するため、街頭における警察活動の強化をはじめ、犯罪情勢の分析と提供の推進等の自主防犯活動の支援、子どもを犯罪から守る対策の推進、犯罪類型ごとの個別防犯対策の推進等を重点とした諸対策を推進することとしております。

三重県警察といたしましては、これら犯罪抑止対策を進めていく上で、貴協会が鋭意取り組んでおられます防犯性能の高い防犯設備・機器の普及促進に対しまして大いに期待するところであります。

終りになりましたが、貴協会の益々のご発展と会員各位のご健勝を祈念申し上げます。

三重県生活部安全安心まちづくりグループ
特命監 山下慎一

NPO法人三重県防犯設備協会の会員皆様におかれましては、平素から県民の安全で安心な暮らしの確保に向けて、様々な活動を展開されるとともに、県の取組へのご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

またこの度は、会報誌の創刊、誠におめでとうございます。

活動の充実に加え、会員相互の情報共有やコミュニケーションの場を新たに設けられたこととなり、大変喜ばしく思います。

さて、三重県における刑法犯認知件数は平成14年をピークに、5年連続の減少が見込まれるという望ましい状況となっています。

この背景には、皆様の活動やご努力により県民の防犯意識が向上し、各地で自主防犯活動や子どもの見守りが活発に展開されるようになったこととともに、様々な防犯機器や設備が充実されてきたことが、大きな影響を与えているものと思われます。

しかし、刑法犯認知件数は減ったとはいえ10年前と比較すると、依然高い水準にあります。中でも窃盗犯等の犯罪の多くは住宅や道路、公園、駐車場など、私たちの身近な所で起きています。

また近年、子どもが犯罪に巻き込まれる痛ましい事件が全国各地で発生しており、地域における安全な環境の整備はますます重要となって参りました。

県では、県民の皆さんの自主防犯意識の向上に向けて、啓発活動や情報提供、人材育成など、ソフト面を中心に犯罪を未然に防止する環境の整備に取り組む所存ですが、防犯対策はソフト・ハード両面からの取組が重要であると思います。

貴協会の会員皆様の今後ますますのご活躍・ご繁栄を祈念するとともに、引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

三重県の安全・安心まちづくり

NPO法人

三重県防犯設備協会



<http://www.miebouhan.com/>

■ ご挨拶

会報誌の発刊に当たって

NPO法人 三重県防犯設備協会
理事長 松吉善弘

会員各位には、新しい年を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は当協会も、三重県警察本部様をはじめ、三重県生活部様や関係機関の皆様のお力添えとご指導をいただき、非営利法人として小さな一步を踏み出すことができました。

すでに皆様もお気づきのとおり、社会の大きな変化によって日本人はかつての価値観を失い、連日のように凶悪な事件が報道されています。

また、市場経済という競争社会は、格差を増大させて不安定な雇用環境を作りだし、人々の心に将来の不安を抱かせるようになりました。このようなことが犯罪の多発に繋がるのではないかと心配されます。

このような社会の情勢にあって、県内でご活躍の防犯設備士は「人々が安全で安心して暮らせるまち」を創りたいとの気概を持って、日々の業務に邁進しておられます。

私たちNPO法人三重県防犯設備協会は会員諸兄と協力し、情報を共有して今後の協会活動をより強力に進めて参りたいと、このたび会報誌“三防設通信”的発行をさせていただくこととなりました。

ここに関係各位のご尽力に心からお礼を申し上げるとともに、皆様のお力添えを切に希望して、ご挨拶とさせていただきます。

■ 協会の活動内容

1. 19年度総会とスキルアップ講習会を開催



19年度総会の模様



スキルアップ講習会

平成19年6月6日（水）13時から津駅前アストで19年度三重県防犯設備協会の総会に引続いて協会員を対象にしたスキルアップ講習会が開催されました。

当日の総会には、県生活部の南副部長様、県警本部生活安全部 橋本彰様、県防犯協会連合会渡辺専務理事様をご来賓にお迎えして正会員15名が出席し19年度の活動計画と予算を理事長が提案、承認されました。

スキルアップ講習会は防犯設備士の最新の知識向上を目的に行われ、今回は協会員19名が参加、新しく防犯設備士テキストに追加された錠前と防犯ガラスについて説明をうけ、その後、竹中エンジニアリング（株）の担当者によるセンサの基礎知識について受講しました。

2. 県内警察署巡り

- ・今後、警察との連携を深めるため各理事が手分けして県内の主要警察署を訪問しました。
- 1) 津警察署 防犯週間の一環で南が丘にて防犯講習会の企画中、協力依頼あり
 - 2) 松阪警察署 具体的な話はなかったが、今後の協力依頼を受けた
 - 3) 鳥羽警察署 自主防犯活動団体の活動に合わせて講演会などの協力依頼
 - 4) 伊勢警察署 吹上地区のリーダーからは毎回報告を受けている、車上荒しも多くなっており防犯設備と講演会に興味をもっている
 - 5) 大台警察署 地区防犯活動に熱心な担当者が居られる、自治会関係者の集まりなどに協力要請
 - 6) その他の各署 いなべ、桑名、四日市南、四日市北、四日市西、鈴鹿、各署を訪問

3. 津 南が丘で防犯講習会

平成19年10月17日（水）全国地域安全運動の一環として津警察署生活安全課の呼びかけにより閑静な住宅街の集会場に30人ほどの住民が集まり、防犯講習会が開かれました。

この日に先立ち、各市町の警察の生活安全課への挨拶回りが行われました。津署は、松吉理事長と前嶋理事と西井が訪問、三重県防犯設備協会の発足の報告と挨拶をして終わりましたが、後日、防犯講習会の依頼があり前述の講習会開催の運びとなりました。

講習会当日は好天に恵まれ、集会場の屋外の庭に松吉理事長が京都の防犯機器メーカーから借りてきたアートクラフトの住宅模型がセッティングされました。

小型カメラで模型の住宅の玄関や窓などを撮影しそれがモニターに映されそれを見せながら楠理事が雄弁な説明を繰り広げるといった雰囲気の中、中身の濃い防犯講習会が行われました。

このような活動は、社会全体を変革するものではありませんが、地域社会単位では確かに防犯意識を高め、その地域の犯罪抑止に貢献すると実感しました。三重県防犯設備協会が行政にいかに認知され強力な支援が得られるかが、今後の発展を左右すると考えます。

なお、当日はマスコミ5社（毎日、産経、中日、伊勢、建通新聞）の取材を受け翌日の新聞に大きくとりあげられました。

（西井理事 記）

4. その他の地区での実施協力

実施日	主 催	場 所	行事テーマ	協 力 内 容	参加メンバー
10月11日 (木) 17:30～	四日市南警察署 生活安全課	日永地区 カヨーショップ ピングセンター	メインストーナン 「みんなでつくろう 安心の街」	1.防犯機器の展示と説明 2.協会PRパンフレットの配布	理事1名 正会員1名 松下電工(株)
10月13日 (土) 10:00～	いなべ警察署 いなべ地区生活 安全協会	午前 いなべ コミュニ ティープラザ 午後 阿下喜会館	メインストーナン 「声かけてみんな で守ろう いなべの街」	午前 理事長による基調講演 「総合防犯設備士からみた ”どろぼうの傾向”とその対 策」 午後 ・理事による防犯講演と防犯 機器の説明、実演 ・参加者全員で会場建屋の 防犯診断実施 (理事、会員がアドバイス)	理事長 理事5名 正会員1名
10月14日 (日) 13:00～	三重県生活部	県津庁舎 61会議室	安全・安心 まちづくり スキルアップ講座	理事長による防犯講演	理事長



10月18日付 中日新聞の記事

実施日	主 催	場 所	行事テーマ	協 力 内 容	参加メンバー
10月15日 (月) 13:30～	熊野警察署	署内講堂	防犯講演会	理事長による防犯講演	理事長
10月19日 (金) 13:30～	伊賀警察署	伊賀市 医師会館	伊賀地区 自主防犯団体連絡 会議	・理事による防犯講演 「総合防犯設備士からみた 泥棒対策について」 ・防犯機器の展示と説明 ・協会PRパンフレットの配布	理事長 理事3名 正会員1名 松下電工(株)
11月11日 (日) 13:00～	名張市、三重県	名張美旗 公民館	犯罪のない まちづくり シンポジューム	侵入犯罪の手口と対策	理事長



阿下喜会館での講演

今回の各行事に参加された方々からは、当協会から提供する「防犯に関するあらゆる情報」の「質と量」にかなりの関心が集まったようです。

また、防犯の第一線で活躍されている各署の生活安全課のご担当の方々からも「さすがですね」との評価もいただきました。

このように、県、県警本部、県防犯協会連合会、各警察署、市町等の防犯行事への協力を通して、三重県防犯設備協会を更にご理解いただくことは、協会(会員)の防犯設備に関する技術やスキルを、行政、地域、企業との連携による「安全安心まちづくり」に広く活用される機会として、防犯設備士の活躍の場を広げていくために欠かせないと実感しました。

各会場での防犯機器等の展示、説明にご協力いただいた、賛助会員の竹中エンジニアリング(株)様、松下電工(株)様、美和ロック(株)様に厚くお礼申し上げます。

(前嶋理事 記)

■ 今後の事業展開について

NPO法人三重県防犯設備協会では、今後の事業展開として以下の活動を実施して参ります。

1. 防犯診断事業制度の提案

安全・安心まちづくり条例の一層の推進を図るため、「防犯診断事業制度」を各所に提案しております。その概要は、NPO法人三重県防犯設備協会の会員のうち、「防犯設備士」資格を保有されており、かつ所定の講習を受講頂いた方を「防犯診断員」として登録し、各所からの派遣要請に基づいて当該「防犯診断員」を協会より派遣させて頂くという事業です。

現在、本事業を軌道に乗せるべく、関係先に対し提案しております。

2. 防犯優良マンション認定事業の推進

日本防犯設備協会が各都道府県防犯設備協会の事業として提案されているものの一つに「防犯優良マンション認定制度」があります。当該制度については、三重県防犯協会連合会様と協働の上、運用を検討しておりますが、本事業は(財)ベターリビングとの連携が不可欠であり、現在検討中であります。

3. 通学路の安全確保提案

近年、通学路周辺での不審者情報があとを絶たず、三重県下においても早急な安全確保対策が問われています。そこで、各市町村に対して通学路の安全確保のための提案を実施すべく準備を進めており、まずモデルケースとして津市立西が丘小学校の通学路防犯診断に着手いたしました。

各地で実施されている自主防犯活動（スクールガード等）をより効果的なものにするためにも、当協会の事業提案を活用して頂き、より一層の安全が確保できるよう事業を推進して参ります。

■ 今後の活動計画

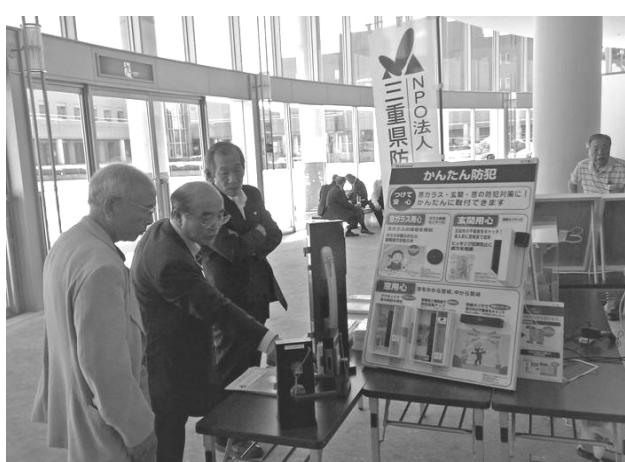
- | | | |
|--|----------|-----------------------|
| 1) 津法人会 | 1月29日 | 出席予定 理事長 |
| 2) 津市立西が丘小学校通学路の防犯診断
通学路を詳査し防犯上の問題箇所の
写真撮影と対策を検討する | 1月22、23日 | 参加予定 理事長、理事 |
| 3) 犯罪のないまちづくりシンポジューム | 2月16日 | 尾鷲市、三重県主催
(会場：尾鷲市) |
| 4) 19年度通常 総会
5月予定 | 案内は後日連絡 | |

■ 関連行事・イベント

1. 三重県中小企業家同友会 中勢支部9月例会で講演とパネルディスカッションに参加

平成19年9月26日（水）19時からアスト津で三重県生活部山下特命監、藤井主幹と当協会からは理事長と理事1名が出席し最近の防犯情勢と防犯対策についてパネルディスカッション、例会には三重県中小企業同友会会員30名が出席

2. 地域安全・暴力追放 三重県民大会開催される



ロビーでの展示・説明

平成19年10月5日（金）13時から県総合文化センターにおいて、県防犯協会連合会、県、県警、暴力追放県民センターの主催、三重県防犯設備協会他43団体の共催で地域安全・暴力追放県民大会が開催されました。

協会からは松吉理事長外3名の理事が出席し会場ロビーで防犯機器と錠前パネルの展示を行い来場者からの防犯相談に対応しました。

大会は（社）三重県防犯協会連合会会長（今岡伊賀市長）の挨拶で始まり、（財）暴力追放三重県民センター会長代理（望月副知事）、大庭三重県警察本部長の挨拶に続き県議会副議長、津市長の祝辞、祝電披露、来賓紹介のあと表彰に移り防犯功労者、暴力追放功労団体、個人とセンター事業の支援事業者に対し感謝状が贈呈されました。

また、防犯設備協会員の中では、美和ロック（株）に感謝状が贈呈されました。
最後に大田 県自治会連合会会長の音頭で全員が大会宣言を和唱し閉会となりました。

3. 第2回都道府県防犯設備士(業)協会全国大会



本会議場の模様



日防設との連携について発言する松吉理事長

平成19年11月22日13時から大阪城を背景とした馬場町のKKRホテルで警察庁安全局、大阪府警、府防犯協会の来賓をはじめ、日本防犯設備協会、21都道府県の防犯設備士協会関係者90名の出席を得て盛大に開催されました。三重県防犯設備協会からは松吉理事長のほか3名出席しました。

日本防犯設備協会木内会長(NECインフロンティア社長)の挨拶で始まった第1部本会議では、地域協会の財政基盤の強化、地域協会と日本防犯設備協会との連携のありかた等の議題で活発な討議が行われました。また、福岡県、愛知県、北海道から具体的な事例での活動報告がありました。

第2部は、大阪府警本部安全まちづくり推進担当官より犯罪項目別全国ワースト1(路上ひったくり、車上ねらい他)7項目にわたる犯行実態と防止への取組みの説明があり大いに参考になりました。

最後に大阪府防犯設備士協会の平野副理事長より全国で最も先行して実績を上げておられる「防犯優良マンション認定事業」への取組みと課題を現場写真を使って詳しく報告されました。

あと、第3部の懇親会に移り20時香川県協会長の中締めで閉会となりました。

4. 三重県警察年頭視閲式

1月11日 出席 理事長

■ 新商品紹介

今回は、新商品を含む最新の竹中エンジニアリング(株)の総合カタログ(CD-R)、美和ロック(株)の新商品、松下電工(株)の新商品カタログを同封しております。

また、三重県生活部作成の「めざそう!犯罪のないまちを!!」を同封いたしました。

■ 会員紹介

・会員動静

新入会員	宮嶋 浩一	美和ロック株式会社(退会される松浦氏の後任)
	小椋 伸	三愛物産株式会社
退会	松浦 正寿	美和ロック株式会社

■ 事務局からのご連絡

- ・次回発行予定 三防設通信は第2号を8月にお届けの予定です。
- ・三防設のホームページアドレスは <http://www.miebouhan.com/> で、日防設はじめ全国の防犯設備士(業)協会ともリンクが張られておりますのでご利用ください。
- ・今後「三防設通信」をさらに充実して行くために皆様の建設的なご意見をお待ちしております。

メール/ info@miebouhan.com または下記のFAXにて事務局加藤宛送付いただくようお願い致します。

編集責任者 NPO法人 三重県防犯設備協会 〒514-0112 三重県津市一身田中野93-1 (三重電業内)
事務局 TEL 059-232-0303 FAX 059-232-5586